

避難ルート・表示板を設置

大江町では、地域防災力を高めることとなる「まるごとまちごとハザードマップ」の取組みを実施しており、これまで住民のみなさまとワークショップを重ね、その成果として町内に避難ルートや表示板を設置しました。

まるごとまちごとハザードマップとは？



地域住民が主体となって、「洪水ハザードマップ」に書かれている浸水エリア、浸水の深さ、避難場所までのルートを地域住民が集まり論議し、その結果より「避難所案内プレート」や「想定(実績)浸水プレート」をまちなかに設置することなどで、地域の防災意識を高め、いざというときの安全かつスムーズな避難に貢献するものです。

【写真はワークショップの様子】

表示板設置の様子 (3/17)

当日は、地域住民の方約40名が参加しました。3月中に全部の箇所に看板を設置しました。



ーいただいた意見ー

★最近はまだあるきの観光客も増えたので、外部から来た人がいざというときに安全に避難できる目印にもなってよい。

★こんど新たに地区の自主防災組織をたちあげるので大いに活用したい。



水郷大江という呼び名があるとおり、川が生活に密着してきた土地なので、川への愛着もより一層はぐくんでほしいですね～。



庄田係長

みなさんお疲れ様でした!

最上川、須川に関するご意見・ご質問等
下記までどんどんお寄せ下さい!

国土交通省 山形河川国道事務所 寒河江出張所
〒991-0043 寒河江市大字島字島東239
TEL 0237(86)3069 FAX 0237(86)6206